

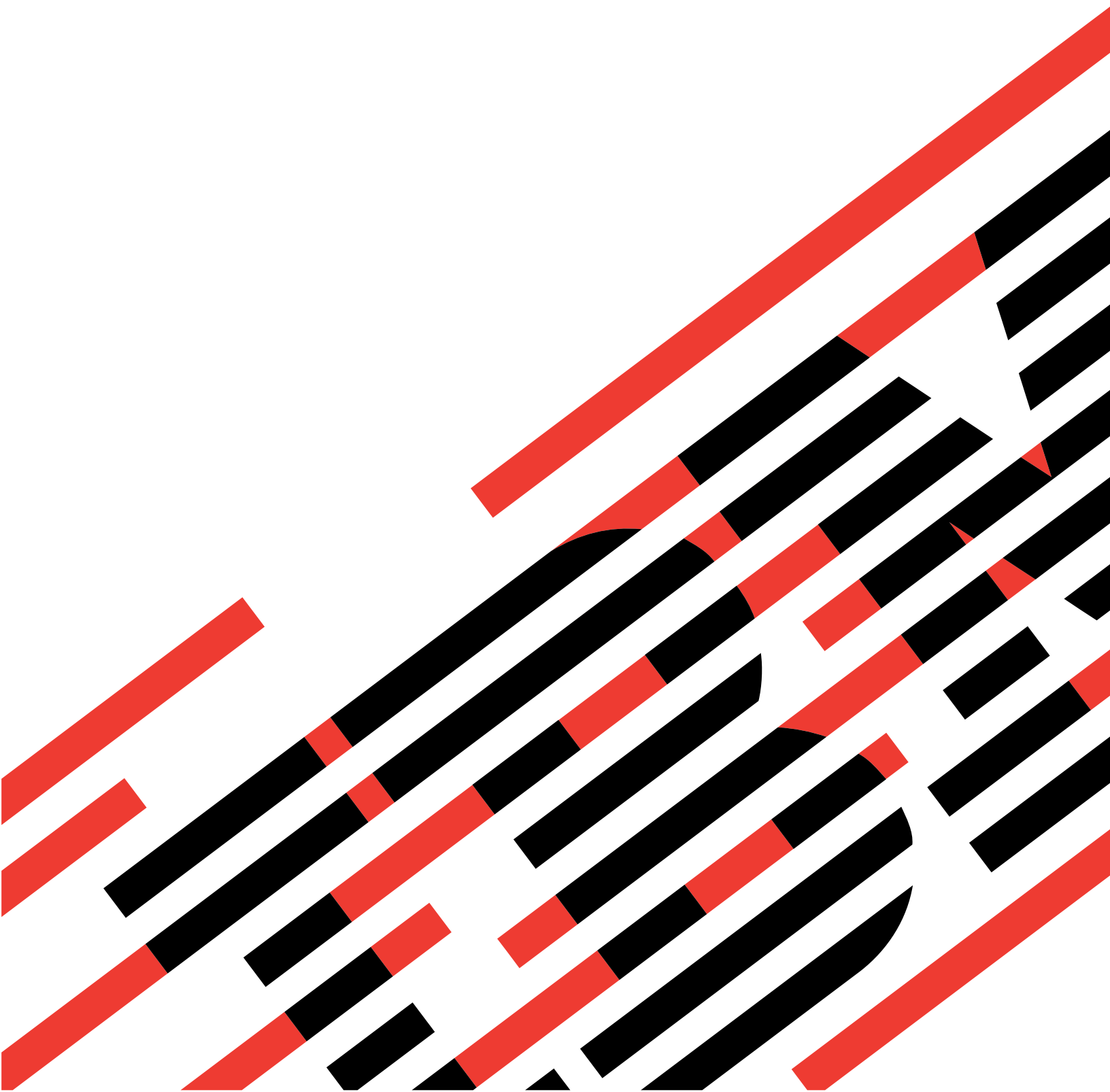
IBM

@server

iSeries

iSeries Integration for Windows Server コマンド

バージョン 5 リリース 3







@server

iSeries

**iSeries Integration for Windows Server コマンド**

バージョン 5 リリース 3

## ご注意

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、33 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、iSeries Integration for Windows Server (プロダクト番号 5722-WSV) のバージョン 5、リリース 3、モディフィケーション 0 に適用されます。また、改訂版で断りがない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。このバージョンは、すべての RISC モデルで稼働するとは限りません。また CISC モデルでは稼働しません。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： iSeries  
iSeries Integration for Windows Server Commands  
Version 5 Release 3

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2004.5

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、  
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1998, 2004. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2004

---

## 目次

WINDOWSサーバーの削除 (DLTWNTSVR) 1	付録. 特記事項. . . . . 33
WINDOWSサーバーの導入 (INSWNTSVR) 3	



---

## WINDOWSサーバーの削除 (DLTWNTSVR)

実行可能場所: すべての環境 (\*ALL)  
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター  
例  
エラー・メッセージ

WINDOWSサーバーの削除 (DLTWNTSVR)コマンドは、指定されたWINDOWSネットワーク・サーバー記述およびWINDOWSサーバーの導入 (INSWNTSVR)コマンドによって作成されたすべての関連オブジェクトを削除します。このオブジェクトにはネットワーク・サーバー記述、回線記述、TCP/IPインターフェース、サーバー記憶スペース、およびシステムで作成されたネットワーク・サーバー記憶スペースがあります。このコマンドを出すには、ネットワーク・サーバーをオフラインに変更しなければなりません。

### 制約事項:

1. このコマンドを実行するには、\*IOSYSCFGおよび\*ALLOBJ特殊権限が必要です。

[トップ](#)

---

## パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
NWSD	ネットワーク・サーバー記述	名前	必須, 定位置 1

[トップ](#)

---

## ネットワーク・サーバー記述 (NWSD)

削除するネットワーク・サーバーの名前を指定します。ネットワーク・サーバー名は最大8文字とすることができます。

[トップ](#)

---

## 例

なし

[トップ](#)

---

## エラー・メッセージ

不明

[トップ](#)





---

## WINDOWSサーバーの導入 (INSWNTSVR)

実行可能場所: すべての環境 (\*ALL)  
スレッド・セーフ: いいえ

パラメーター  
例  
エラー・メッセージ

WINDOWSサーバーの導入 (INSWNTSVR)コマンドは、WINDOWSサーバー基本オペレーティング・システムを統合XSERIESサーバーに導入します。INSWNTSVRは、サーバー上に IBM ISERIES INTEGRATION FOR WINDOWS SERVER コードも導入します。

WINDOWSサーバー導入は2つのステップで実行されます。最初のステップでは、INSWNTSVRコマンドがサーバーの管理に必要なすべてのオブジェクトをISERIES上に作成します。これには、ネットワーク・サーバー記述、メッセージ待ち行列、回線記述、記憶スペース、およびTCP/IPインターフェースが含まれます。

INSTYPEが\*FULLの場合は、WINDOWSサーバー基本オペレーティング・システム用コードもWINDOWSサーバー導入媒体イメージからコピーされます。

WINDOWSサーバー導入の2番目のステップでは、WINDOWSサーバー導入を開始するために統合XSERIESサーバーがオンに構成変更されます。

INSTYPEが\*BASICの場合、SERVERGUIDE CDが外部サーバーのローカル接続されたCD-ROMまたはDVDドライブに挿入され、そのサーバーがオンに構成変更されます。ここでINSWNTSVRコマンドは終了します。サーバーのSERVERGUIDE CDがサーバーからブートされ、そのサーバーを構成するプロセス（新規BIOS更新の導入、すべての装置またはアダプターの検出と構成、およびWINDOWS導入のためのシステムの準備を含む）を続行します。

続くWINDOWSサーバー導入は、ファイル・サーバー・コンソールおよび通常のWINDOWSサーバー導入プロセスを使用して実行されます。

INSWNTSVRが正常完了すると、WINDOWSサーバーはオンに構成変更された状態のままになります。

### 制約事項:

1. このコマンドを実行するためには、\*IOSYSCFG、\*ALLOBJ、および\*JOBCTL特殊権限をもっていなければなりません。
2. このコマンドは、ファイル・サーバー・コンソールとの組み合わせで対話式に実行しなければなりません。
3. ファイル・サーバーは最初はオフに構成変更されていなければなりません。
4. またファイル・サーバーは、WINDOWSサーバーが導入され、サーバーをリポートする必要があるため、導入の第2ステップでオフに構成変更されてからオンに戻されます。

ファイル・サーバーを構成する最初のステップでなにかエラーが起こると、このコマンドは失敗することになります。

このコマンドの実行後に、作成された種々の資源を管理する必要がある場合には、以下のコマンドを使用します。

- WINDOWSサーバーの状況をチェックアウトするためには、構成状況処理コマンドWRKCFGSTS CFGTYPE(\*NWS)を使用してください。

- 導入したばかりのサーバーを管理するためには、ネットワーク・サーバー記述処理コマンドWRKNWSD NWSD(ネットワーク・サーバー名)を使用してください。
- このコマンドで作成された回線記述を管理するためには、回線記述処理コマンドWRKLIND LIND(ネットワーク・サーバー名\*)を使用してください。回線記述の名前としてINSWNTSVRコマンドに指定されたネットワーク・サーバー名の最初の文字が使用されます。
- このコマンドで作成されたTCP/IPインターフェースを管理するためには、TCP/IPネットワーク状況処理(NETSTAT)コマンドのオプション1を使用します。もう1つの方法は、TCP/IP構成(CFGTCP)コマンドのオプション1を使用することです。

トップ

## パラメーター

キーワード	記述	選択項目	注
NWSD	ネットワーク・サーバー記述	名前	必須, キー, 定位置 1
INSTYPE	導入タイプ	*FULL, *BASIC	必須, 定位置 2
RSRCNAME	資源名	名前	必須, 定位置 3
DMNROLE	ドメインの役割	*DMNCTL, *SERVER	必須, 定位置 4
WNTVER	WINDOWSサーバー・バージョン	文字値	必須, 定位置 5
WNTSRCDIR	WINDOWS ソース・ディレクトリ	パス名, <b><u>DFT</u></b>	オプション
OPTION	導入オプション	文字値	オプション
TCPPORTCFG	TCP/IPポート構成	単一値: <b><u>*NONE</u></b> その他の値 (最大 4 回の繰り返し): 要素リスト	オプション
	要素 1: ポート	1, 2, 3, 4	
	要素 2: WINDOWS IPアドレス	文字値	
	要素 3: WINDOWSサブネット・マスク	文字値	
	要素 4: WINDOWS GATEWAYアドレス	文字値	
VRTETHPORT	仮想イーサネット・ポート	単一値: <b><u>*NONE</u></b> その他の値 (最大 4 回の繰り返し): 要素リスト	オプション
	要素 1: ポート	*VRTETH0, *VRTETH1, *VRTETH2, *VRTETH3, *VRTETH4, *VRTETH5, *VRTETH6, *VRTETH7, *VRTETH8, *VRTETH9	
	要素 2: WINDOWS IPアドレス	文字値	
	要素 3: WINDOWSサブネット・マスク	文字値	
	要素 4: 関連ポート	名前, <b><u>*NONE</u></b>	
TCPDMNNAME	TCP/IPローカル・ドメイン名	パス名, <b><u>*SYS</u></b>	オプション
TCPNAMSVR	TCP/IP NAME SERVERシステム	単一値: <b><u>*SYS</u></b> , *NONE その他の値 (最大 3 回の繰り返し): 文字値	オプション

キーワード	記述	選択項目	注
MSGQ	サーバー・メッセージ待ち行列	単一値: <b>*JOBLOG</b> , *NONE その他の値: 修飾オブジェクト名	オプション
	修飾子 1: サーバー・メッセージ待ち行列	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, *LIBL, *CURLIB	
EVTLOG	イベント・ログ	単一値: <b>*ALL</b> , *NONE その他の値 (最大 3 回の繰り返し): *SYS, *SEC, *APP	オプション
SVRSTGSIZE	サーバー記憶スペースのサイズ	要素リスト	オプション
	要素 1: 導入ソース・サイズ	500-2047, <b>*CALC</b>	
	要素 2: システム・サイズ	1024-1024000, <b>*CALC</b>	
SVRSTGASP	記憶スペースASP	要素リスト	オプション
	要素 1: 導入ソースASP	1-255, <b>1</b>	
	要素 2: システムASP	1-255, <b>1</b>	
STGASPDEV	サーバー記憶ASP装置	要素リスト	オプション
	要素 1: 導入ソースASP装置	名前	
	要素 2: システムASP装置	名前	
CVTNTFS	NTFSへの変換	<b>*NO</b> , *YES	オプション
TOWRKGRP	ワークグループ	文字値	オプション
TODMN	ドメイン	文字値	オプション
FULNAM	フルネーム	文字値	オプション
ORG	組織名	文字値	オプション
LNGVER	言語バージョン	整数, <b>*PRIMARY</b>	オプション
SYNCTIME	日付と時刻の同期化	<b>*YES</b> , *NO	オプション
PRPDMNUSR	ドメイン・ユーザーの伝搬	<b>*YES</b> , *NO	オプション
WNTLICKEY	WINDOWSライセンス・キー	文字値	オプション
LICMODE	ライセンス・モード	要素リスト	オプション
	要素 1: ライセンス・タイプ	<b>*PERSEAT</b> , *PERSERVER	
	要素 2: クライアント・ライセンス	5-9999, <b>*NONE</b>	
	要素 3: 端末サービス	文字値	
RSTDDEVRSC	制約された装置資源	単一値: <b>*NONE</b> , *ALL その他の値 (最大 10 回の繰り返し): 名前, *ALLTAPE, *ALLOPT	オプション
SHUTDTIMO	シャットダウン・タイムアウト	2-45, <b>15</b>	オプション
TEXT	テキスト記述	文字値, <b>*BLANK</b>	オプション
KBDTYPE	キーボードのレイアウト	16 進値, <b>*DEFAULT</b>	オプション
CFGFILE	構成ファイル	単一値: <b>*NONE</b> その他の値: 修飾オブジェクト名	オプション
	修飾子 1: 構成ファイル	名前	
	修飾子 2: ライブラリー	名前, *LIBL, *CURLIB	
CLU	クラスター名	名前, <b>*NONE</b>	オプション

キーワード	記述	選択項目	注
<b>CLUCFG</b>	クラスター構成	単一値: <b>*CLU</b> その他の値: 要素リスト	オプション
	要素 1: クラスター・ドメイン名	文字値	
	要素 2: クォーラム資源サイズ	550-1024000, <b>*CALC</b>	
	要素 3: クォーラム資源ASP	1-255, <b>1</b>	
	要素 4: クォーラムASP装置	名前	
	要素 5: 接続ポート	*VRTETH0, *VRTETH1, *VRTETH2, *VRTETH3, *VRTETH4, *VRTETH5, *VRTETH6, *VRTETH7, *VRTETH8, *VRTETH9	
	要素 6: クラスターIPアドレス	文字値	
	要素 7: クラスター・サブネット・マスク	文字値	
<b>VRTPTP</b>	仮想PTP イーサネット・ポート	要素リスト	オプション
	要素 1: OS/400 IPアドレス	文字値, <b>*GEN</b>	
	要素 2: WINDOWS IPアドレス	文字値, <b>*GEN</b>	
<b>INTLAN</b>	内部LANポート	要素リスト	オプション
	要素 1: OS/400 IPアドレス	文字値, <b>*GEN</b>	
	要素 2: WINDOWS IPアドレス	文字値, <b>*GEN</b>	
<b>PORT1</b>	ポート1	単一値: <b>*NONE</b> その他の値: 要素リスト	オプション
	要素 1: 回線タイプ	*ETH10M, *ETH100M, *TRN4M, *TRN16M	
	要素 2: LOCALアダプター・アドレス	文字値	
	要素 3: 最大送信単位	整数, <b>1492</b>	
	要素 4: OS/400 IPアドレス	文字値	
	要素 5: OS/400サブネット・マスク	文字値	
	要素 6: WINDOWS IPアドレス	文字値	
	要素 7: WINDOWSサブネット・マスク	文字値	
	要素 8: WINDOWS GATEWAYアドレス	文字値	

キーワード	記述	選択項目	注
PORT2	ポート2	単一値: <b>*NONE</b> その他の値: 要素リスト	オプション
	要素 1: 回線タイプ	*ETH10M, *ETH100M, *TRN4M, *TRN16M	
	要素 2: LOCALアダプター・アドレス	文字値	
	要素 3: 最大送信単位	整数, <b>1492</b>	
	要素 4: OS/400 IPアドレス	文字値	
	要素 5: OS/400サブネット・マスク	文字値	
	要素 6: WINDOWS IPアドレス	文字値	
	要素 7: WINDOWSサブネット・マスク	文字値	
	要素 8: WINDOWS GATEWAYアドレス	文字値	

トップ

## ネットワーク・サーバー記述 (NWS D)

ネットワーク・サーバーの名前を指定します。ネットワーク・サーバー名は最大8文字とすることができます。NWS D名には、次の文字を使用することができます。

- 英字A-Z
- 数字0-9

指定されたネットワーク・サーバー記述は、このコマンドに指定された値を使用して作成されます。

TYPE(\*WINDOWSNT)のNWS Dを作成するためには、ネットワーク・サーバー記述作成 (CRTNWS D)コマンドが使用されます。この名前は、WINDOWSサーバーのTCPホスト名としての他に、導入されるWINDOWSサーバーのコンピューター名としても使用されます。

トップ

## 導入タイプ (INSTYPE)

実行する導入のタイプを指定します。

**\*FULL** ファイル・サーバーのフル導入は、OS/400によって制御されます。

**注:** WINDOWSの新規バージョンにアップグレード(OPTION(\*UPGRADE))しようとしているどのファイル・サーバーにも\*FULLを指定しなければなりません。

### **\*BASIC**

外部ファイル・サーバーの基本導入は、OS/400によって開始されて、SERVERGUIDE CDを使用して完了します。

トップ

---

## 資源名 (RSRCNAME)

この記述が使用するハードウェアを識別する資源名を指定します。

**注:** 資源名の判別に役立てるには、TYPEパラメーターに\*CMNを指定したハードウェア資源処理(WRKHDWRSC)コマンドを使用します。通信アダプターの資源名を指定してください。資源名はファイル・サーバーIOAまたはファイル・サーバーIOPを表します。資源名の最大長は10桁です。

[トップ](#)

---

## ドメインの役割 (DMNROLE)

このネットワーク・サーバーによって実行されるドメインの役割を指定します。ドメインの役割の詳細については、WINDOWSサーバーの文書を参照してください。

### \*DMNCTL

このネットワーク・サーバーはドメイン・コントローラーです。

### \*SERVER

このネットワーク・サーバーはスタンドアロン・サーバーです。

[トップ](#)

---

## WINDOWSサーバー・バージョン (WNTVER)

このネットワーク・サーバーに導入するWINDOWSサーバーのバージョンを指定します。コマンド・プロンプト中にF4を使用して、このパラメーターに使用できる値の完全なリストを表示することができます。

### \*WIN2000

WINDOWS 2000 SERVERおよびADVANCED SERVERバージョンをサポートします。

### \*WIN2003

WINDOWS SERVER 2003, STANDARDおよびENTERPRISEバージョンをサポートします。

[トップ](#)

---

## WINDOWS ソース・ディレクトリー (WNTSRCDIR)

導入の際に、ソースとして使用されるWINDOWSサーバーのCD-ROMイメージと関連したOS/400ディレクトリーのパス名を指定します。このディレクトリー名は、光ディスク・ボリュームなら(/QOPT/ボリューム名)、フォルダーなら(/QDLS/フォルダー名)、またはIFSディレクトリーなら(/ディレクトリー1/ディレクトリー2)を参照します。CD-ROMボリュームのパス名の例は'/QOPT/NTSRV40A'です。

光ディスク装置上にあるボリュームの名前を検索するには、次のコマンド、DSPOPT VOL(\*MOUNTED) DEV(装置名)を使用します。光ディスク装置の名前が不明の場合、コマンドWRKCFGSTS CFGTYPE(\*DEV) CFGD(\*OPT)を使用してください。

IFSディレクトリーのパスの名前を検索するには、オブジェクト・リンクの処理(WRKLNK)コマンドを使用してください。WRKLNKは、システムのディレクトリー・オブジェクトのパス名を表示します。

**注:** INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

**\*DFT** 使用する省略時のディレクトリー・パス名は、QOPTファイル・システム(IFSの/QOPTディレクトリー)を検索することによって決定されます。中にWINNT.EXEファイルがあるI386ディレクトリーが入っているQOPTの最初のボリュームのパス名が省略時の値として使用されます。

### ソース・ディレクトリー

導入に使用するWINDOWSサーバー・ソース・ディレクトリーのパス名を指定してください。

**注:** 指定したディレクトリーには、中にWINNT.EXEがあるI386ディレクトリーが入っていないければなりません。

コマンド・プロンプトが出されているときにF4を使用して、このパラメーターに使用できる光ディスク・ボリュームのパス名のリストを表示することができます。光ディスク・ボリューム以外のフォルダーまたはIFSパス名も使用できますが、F4の使用時にはリストされません。

トップ

---

## 導入オプション (OPTION)

WINDOWSサーバー導入方式を指定します。導入のタイプのそれぞれの詳細情報は、WINDOWSサーバーの資料およびSETUP.TXTファイルをご覧ください。WINDOWSサーバーのアップグレードの前に、この情報を調べておく必要があります。

### **\*INSTALL**

新規WINDOWSサーバーおよびIBM ISERIES INTEGRATION FOR WINDOWS SERVER コードを導入します。

これにより、新規ネットワーク・サーバー記述、記憶スペース、メッセージ待ち行列、回線記述、およびTCPインターフェースが作成されます。

### **\*UPGRADE**

既存のWINDOWSサーバーおよびIBM ISERIES INTEGRATION FOR WINDOWS SERVER コードをより新しいリリースのWINDOWSサーバーにアップグレードします。

これにより、既存のネットワーク・サーバー記述、システム記憶スペース、メッセージ待ち行列、回線記述、およびTCPインターフェースが使用されることとなります。

**注:**

1. \*UPGRADE導入の実行前に、ネットワーク・サーバーにリンクされたすべてのドライブのバックアップを強くお勧めします。
2. 導入ソース・ドライブ（通常はD:ドライブ）が削除されて、**サーバー記憶スペースのサイズ (SVRSTGSIIZE)**パラメーターの**導入ソース・サイズ**要素に指定された導入ソース・サイズで再作成されます。このドライブ上のすべてのユーザー・データが逸失することとなります。
3. \*UPGRADE導入は、唯一サポートされたWINDOWSサーバーの新規リリースへのアップグレード・パスです。WINDOWSサーバーを導入CD-ROMから直接アップグレードすると、ファイル・サーバーが使用できなくなり、バックアップから復元することが必要になる場合があります。

トップ



---

## TCP/IPポート構成 (TCPPOORTCFG)

ネットワーク・サーバーでポートに固有のWINDOWS TCP/IP構成値を指定します。この情報は、ネットワーク・サーバー・ポートの識別、IPアドレス、サブネット・マスク、およびポートに割り当てられている省略時ゲートウェイを含む4つの部分から成っています。注:

1. このパラメーターは、PORT1またはPORT2パラメーターと一緒に使用することができません。
2. INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

### \*NONE

WINDOWS TCP/IPポート構成がないことを指定します。

### 要素1: ポート

構成するネットワーク・サーバー・ポート番号を指定します。次の値の1つを指定してください。

- 1 ネットワーク・サーバー・ポート番号1が構成されます。
- 2 ネットワーク・サーバー・ポート番号2が構成されます。
- 3 ネットワーク・サーバー・ポート番号3が構成されます。
- 4 ネットワーク・サーバー・ポート番号4が構成されます。

### 要素2: WINDOWS IPアドレス

#### IPアドレス

ポートのWINDOWS IPアドレスを NNN.NNN.NNN.NNN 形式で指定します。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。

注: 選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。

### 要素3: WINDOWSサブネット・マスク

#### サブネット・マスク

WINDOWS IPアドレスのサブネット・マスクを NNN.NNN.NNN.NNN 形式で指定します。ここで、NNN は0から255の範囲の10進数です。

### 要素4: WINDOWS GATEWAYアドレス

#### ゲートウェイ・アドレス

WINDOWS IPアドレスの省略時ゲートウェイ・アドレスを NNN.NNN.NNN.NNN 形式で指定します。ここで、NNN は0から255の範囲の10進数です。

[トップ](#)

---

## 仮想イーサネット・ポート (VRTETHPORT)

ファイル・サーバーによって使用される仮想イーサネットのTCP/IP構成を指定してください。

注: VRTETHPORTパラメーターは、ISERIESで実行中の統合XSERIESサーバーにのみ使用可能です。

### \*NONE

WINDOWS TCP/IPポート構成がないことを指定します。



### 要素1: ポート

構成されるネットワーク・サーバー仮想イーサネットのポート番号を指定します。次の値の1つを指定してください。

#### **\*VRTETHN**

ネットワーク・サーバー仮想イーサネット・ポート'N'が構成されます。ここで'N'は0から9の値です。

### 要素2: WINDOWS IPアドレス

#### **IPアドレス**

ポートのWINDOWS IPアドレスを NNN.NNN.NNN.NNN 形式で指定してください。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。

### 要素3: WINDOWSサブネット・マスク

#### **サブネット・マスク**

WINDOWS IPアドレスのサブネット・マスクを NNN.NNN.NNN.NNN 形式で指定します。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。

### 要素4: 関連ポート

WINDOWSネットワーク・サーバーとネットワークとの間の接続の確立に使用するポートを表す資源名を指定します。

**注:** 資源名の判別に役立つには、TYPEパラメーターに\*CMNを指定したハードウェア資源処理(WRKHDWRSC)コマンドを使用します。この資源名はポート上にあります。たとえば、資源名はイーサネット・ポート上のCMN01とすることができます。

#### **\*NONE**

関連したポート資源名は、回線とは関連していません。

**資源名** 資源名を指定します。

[トップ](#)

---

## TCP/IPローカル・ドメイン名 (TCPDMNNAME)

ネットワーク・サーバーと対応したローカル・ドメイン名を指定します。

ドメイン名は2から255桁のテキスト・ストリングとすることができます。ドメイン名はピリオドで区切った1つまたは複数のラベルから構成されます。各ラベルには、最大63桁を入れることができます。ドメイン名には、次の文字を使用することができます。

- 英字A-Z
- 英字a-z
- 数字0-9
- マイナス符号(-)
- ピリオド(.)。ピリオドは、ドメイン・スタイル名のラベルを区切る時にだけ使用することができます (RFC 1034を参照)。

大文字および小文字を使用できますが、そのケースの違いに意味はありません。ケースは入力された通り維持されます。ホスト名の最初および最後の文字は英字または数字としなければなりません。

**注:** INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

**\*SYS** ネットワーク・サーバーのローカル・ドメイン名が、OS/400システムで構成されているのと同じ値でなければならないことを指定します。

#### ローカル・ドメイン名

ネットワーク・サーバーと対応したTCPドメイン名を指定してください。

[トップ](#)

---

## TCP/IP NAME SERVERシステム (TCPNAMSVR)

ネットワーク・サーバーが使用するネーム・サーバー・システムのIPアドレスを指定します。通常、これはOS/400システムの場合と同じ値です。

**注:** INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

**\*SYS** ネットワーク・サーバーが使用するネーム・サーバー・システムはOS/400の場合と同じでなければなりません。

#### **\*NONE**

ネットワーク・サーバーはネーム・サーバーを使用しません。

#### ネーム・サーバー・アドレス

ネットワーク・サーバーが使用するネーム・サーバー・システムのIPアドレスを指定します。最大3つのリモート・ネーム・サーバー・システムを指定することができます。ネーム・サーバー・システムは、指定された順序で使用されます。

[トップ](#)

---

## サーバー・メッセージ待ち行列 (MSGQ)

サーバー・メッセージを受け取るメッセージ待ち行列の名前を指定します。

#### **\*JOBLOG**

サーバーからのWINDOWSサーバー・イベント・ログ・メッセージおよび通知メッセージがユーザー管理モニター・ジョブのジョブ・ログに入れます。操作員の介入が必要なエラーはQSYSOPRメッセージ待ち行列に送られます。

#### **\*NONE**

WINDOWSサーバー・イベント・ログ・メッセージおよび通知メッセージは、どのメッセージ待ち行列にも入られません。操作員の介入が必要なエラーはQSYSOPRメッセージ待ち行列に送られます。

#### メッセージ待ち行列名

サーバーが出すメッセージ、通知メッセージ、および操作員の介入が必要なメッセージを受け取るメッセージ待ち行列の名前を指定します。

このメッセージ待ち行列は、いっぱいにならないようモニターしている必要があります。いっぱいになると、メッセージはユーザー管理ジョブのジョブ・ログに再経路指定されます。

WINDOWSサーバーのイベント・ログ・メッセージのボリュームが予測不能なので、統合XSERIESサーバーで実行中のWINDOWSサーバーと関連したすべてのメッセージを受け取るメッセージ待ち行列としてQSYSOPRを指定する場合には、注意する必要があります。

メッセージ待ち行列名とライブラリー名の両方を指定し、そのメッセージ待ち行列が存在していない場合には、メッセージ待ち行列が\*EXCLUDE権限つきで自動的に作成されます。メッセージ待ち行列用に指定されたライブラリーが存在していない場合には、コマンドは失敗します。

メッセージ待ち行列の名前は、次のライブラリー値のいずれかで修飾することができます。

**\*LIBL** 最初的一致が見つかるまで、ジョブのライブラリー・リストのすべてのライブラリーが検索されません。

**\*CURLIB**

ジョブの現行ライブラリーが検索されます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーが指定されていない場合には、QGPLライブラリーが使用されます。

**ライブラリー名**

使用するライブラリーの名前を指定してください。

[トップ](#)

---

## イベント・ログ (EVTLOG)

サーバーからイベント・ログのメッセージを受信するかどうかを指定します。

注: イベント・ログのメッセージは、サーバー・メッセージ待ち行列 (**MSGQ**)パラメーターで識別されたメッセージ待ち行列に入れられます。MSGQの値を\*NONEにすることはできません。詳細については、MSGQパラメーターを参照してください。

**\*ALL** すべてのイベント・ログ・メッセージを受信されます。

**\*NONE**

イベント・ログ・メッセージは受信されません。

**\*SYS** システム・イベント・ログ・メッセージを受信されます。

**\*SEC** 機密保護イベント・ログ・メッセージを受信されます。

**\*APP** アプリケーションのイベント・ログ・メッセージを受信されます。

[トップ](#)

---

## サーバー記憶スペースのサイズ (SVRSTGSIZE)

サーバー記憶スペースのサイズをメガバイトで指定します。

**要素1: 導入ソース・サイズ**

WINDOWSサーバーを導入するために使用されるファイルを保持する記憶スペースのサイズを指定します。

注:

1. WINDOWSサーバーの導入媒体のI386ディレクトリーの内容、および IBM ISERIES INTEGRATION FOR WINDOWS SERVER コードが導入ソース・ドライブにコピーされます。導入用ソース・ドライブに指定するサイズは、充分このデータを入れられる大きさでなければなりません。
2. OPTION(\*UPGRADE)の導入の場合は、新規導入ソース・ドライブ・サイズを指定することができます。作成される新規ドライブは、既存導入ソース・ドライブ（一般にはD:ドライブ）を置き換えます。結果として、このドライブ上のすべてのユーザー・データが失われます。このネットワーク・サーバーと関連したすべてのドライブのバックアップをお勧めします。

#### **\*CALC**

サイズは、**WINDOWS ソース・ディレクトリー (WNTSRCDIR)**パラメーターによって配置される導入ソースを保持するために必要なスペースを基にして計算することを指定します。

#### **導入ソース・サイズ**

導入ソース・サイズ値をメガバイトで指定します。このサイズは最低でも500 MBで、2047 MBより大きくすることはできません。

#### **要素2: システム・サイズ**

WINDOWSサーバー・オペレーティング・システムが導入される記憶スペースのサイズ(MB数)を指定します。

#### **注:**

1. ファイル・サーバー・ハードウェア資源タイプによっては、システム・サイズの許容最大サイズが8000 MBに制限される場合があります。
2. 許可される最小サイズは**WINDOWS ソース・ディレクトリー (WNTSRCDIR)**のTXTSETUP.SIFファイル内の"FREESYSPARTDISKSPACE"パラメーターで指定されます。
3. 導入タイプ\***BASIC**を実行時の最小サイズは、システムが使用するために予約済みの50 MBを含む2047 MBです。
4. OPTIONが\***UPGRADE**の場合には、省略時値以外の値をシステム・サイズに指定することができません。

#### **\*CALC**

このサイズが統合XSERIESサーバーの導入済みメモリーを基にして計算されることを指定します。導入されたメモリーの容量、および**WINDOWS ソース・ディレクトリー (WNTSRCDIR)**のTXTSETUP.SIFファイル内の"FREESYSPARTDISKSPACE"パラメーターで指定されている許容最小サイズの合計を2倍したサイズ。

#### **システム・サイズ**

システム・サイズ値をメガバイトで指定します。サイズは、少なくとも**WINDOWS ソース・ディレクトリー (WNTSRCDIR)**のTXTSETUP.SIFファイル内の"FREESYSPARTDISKSPACE"パラメーターで指定されている最小サイズから最大1024000までとしなければなりません。

トップ

---

## **記憶スペースASP (SVRSTGASP)**

WINDOWSサーバーを導入するために使用されるファイルが入る記憶スペースと、WINDOWSサーバー・オペレーティング・システムが入る記憶スペースの補助記憶域プール(ASP) IDを指定します。

**注:** 同じ要素についてSVRSTGASPとSTGASPDEVの両方のパラメーター値を指定することはできません。

注: NULL (省略) 値は, 文字\*Nと指定しますが, これは値を指定しないことを意味します。対応するサーバー記憶ASP装置(STGASPDEV)に値が指定されていれば, その値が使用されます。そうでない場合には, 省略時の値が使用されます。\*Nが必要になるのは, 省略した要素の後に別の値を指定する時だけです。

#### 要素1: 導入ソースASP

WINDOWSサーバーを導入するために使用されるファイルを保持する記憶スペースの補助記憶域プールを指定します。

**1** 記憶スペースは補助記憶域プール1 (システム補助記憶域プール) 内に作成されます。

##### ASP番号

ASP識別コードに2から255の範囲の値を指定してください。有効値は, システムで定義されているASPの数によって異なります。

#### 要素2: システムASP

WINDOWSサーバー・オペレーティング・システムを保持する記憶スペースの補助記憶域プールを指定します。

注: OPTIONが\*UPGRADEの場合には, 省略時値以外の値をシステム・サイズに指定することができません。

**1** 記憶スペースは補助記憶域プール1 (システム補助記憶域プール) 内に作成されます。

##### ASP番号

ASP識別コードに2から255の範囲の値を指定してください。有効値は, システムで定義されているASPの数によって異なります。

[トップ](#)

---

## サーバー記憶ASP装置 (STGASPDEV)

WINDOWSサーバーを導入するために使用されるファイルが入る記憶スペースと, WINDOWSサーバー・オペレーティング・システムが入る記憶スペースの補助記憶域プール(ASP)装置名を指定します。

注: 同じ要素についてSVRSTGASPとSTGASPDEVの両方のパラメーター値を指定することはできません。

注: ASPは, (ASP装置をオンに構成変更することによって) 活動化されていて, 「使用可能」の状況になっていなければなりません。

#### 要素1: 導入ソースASP装置

WINDOWSサーバーを導入するために使用されるファイルを保持する記憶スペースの独立補助記憶域プール装置名を指定します。

##### ASP装置名

ネットワーク・サーバー記憶スペースに使用するASPの装置名。

#### 要素2: システムASP装置

WINDOWSサーバー・オペレーティング・システムを保持する記憶スペースの独立補助記憶域プール装置名を指定します。

## ASP装置名

ネットワーク・サーバー記憶スペースに使用するASPの装置名。

[トップ](#)

---

## NTFSへの変換 (CVTNTFS)

システム・ドライブの基本区画をNTファイル・システム(NTFS)に変換するかどうかを指定します。

### 注:

1. NTFSへの変換は、特定の状態のもとでは自動的に実行されることがあります。これらの条件の1つが存在する場合には、NTFSへの変換 (CVTNTFS)パラメーターがこのコマンドによって自動的に\*YESに設定されます。NTFSへ自動的に変換される理由には、次のものがあります。
  - 2047メガバイトを超えるシステム・ドライブをアクセスするファイル・サーバーの制限による。
  - 8000メガバイトを超えるシステム・ドライブをアクセスするファイル・サーバーの制限による。
  - \*DMNCTLのドメイン役割(DMNROLE)によって指示されるACTIVE DIRECTORYなど、任意選択で導入されたコンポーネントによる。
2. INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

**\*NO** 導入中に、WINDOWSサーバーはシステム・ドライブをNTFSに変換しません。

**\*YES** 導入中に、WINDOWSサーバーはシステム・ドライブをNTFSに変換します。

[トップ](#)

---

## ワークグループ (TOWRKGRP)

このコンピューターが関係するワークグループを指定します。パラメーター値が指定されていない場合には、導入時にWINDOWSサーバーがプロンプトを出して値をたずねます。

このパラメーターで有効な文字は、英字A-Z,数字0-9,およびASCIIコード・ページ内の（次のものを除く）文字です。

- スペース( )
- 引用符(")
- アスタリスク(\*)
- プラス(+)
- コンマ(,)
- ピリオド(.)
- スラッシュ(/)
- コロン(:)
- セミコロン(;)
- より小(<)
- 等しい(=)
- より大(>)
- 疑問符(?)

- 左大括弧( )
- 円記号(¥)
- 右大括弧( )
- 縦線(|)

**注:** INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

#### 接続先ワークグループ名

このコンピューターが加わるワークグループを指定してください。コンピューターはワークグループまたはドメインの一部となることができます。

[トップ](#)

---

## ドメイン (TODMN)

コンピューターが加わることになる既存のサーバー・ドメインの名前を指定します。パラメーター値が指定されていない場合には、導入時にWINDOWSサーバーがプロンプトを出して値をたずねます。

このパラメーターで有効な文字は、英字A-Z,数字0-9,およびASCIIコード・ページ内の（次のものを除く）文字です。

- スペース( )
- 引用符(")
- アスタリスク(\*)
- プラス(+)
- コンマ(,)
- ピリオド(.)
- スラッシュ(/)
- コロン(:)
- セミコロン(;)
- より小(<)
- 等しい(=)
- より大(>)
- 疑問符(?)
- 左大括弧( )
- 円記号(¥)
- 右大括弧( )
- 縦線(|)

**注:** INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

#### 接続先ドメイン名

コンピューターが加わることになるサーバー・ドメインの名前を指定してください。コンピューターはワークグループまたはドメインの一部となることができます。



---

## フルネーム (FULNAM)

WINDOWSサーバーを導入するためのユーザーのフルネームを指定します。パラメーター値が指定されていない場合には、導入時にWINDOWSサーバーがプロンプトを出して値をたずねます。

**注:** INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

### ユーザーのフルネーム

WINDOWSサーバーを導入中の、ライセンスを保有しているユーザーの名前を指定してください。

トップ

---

## 組織名 (ORG)

WINDOWSサーバーを導入するための組織名を指定します。パラメーター値が指定されていない場合には、導入時にWINDOWSサーバーがプロンプトを出して値をたずねます。

**注:** INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

**組織名** WINDOWSサーバーを導入中の、ライセンスを保有している組織の名前を指定してください。

トップ

---

## 言語バージョン (LNGVER)

IBM ISERIES INTEGRATION FOR WINDOWS SERVER のテキストとメッセージを表示するために使用する導入済み言語環境を指定します。導入中に表示されるメッセージに使用可能な言語セットの方が、導入後に表示されるメッセージに対する場合よりも少ないことに注意してください。

### **\*PRIMARY**

IBM ISERIES INTEGRATION FOR WINDOWS SERVER のテキストおよびメッセージ用導入済み言語環境は、OS/400の1次言語の言語機能に基づいています。

### 言語バージョン

IBM ISERIES INTEGRATION FOR WINDOWS SERVER のテキストおよびメッセージを選択するために使用されるOS/400言語機能を指定します。

トップ

---

## 日付と時刻の同期化 (SYNCTIME)

OS/400システムがネットワーク・サーバーの日付と時刻をOS/400システムの日付と時刻に同期させる必要があるかどうかを指定します。

**\*YES** OS/400システムは、オンに構成変更のたびに、さらにその後少なくとも30分ごとに、ファイル・サーバーの日付と時刻をOS/400システムの日付と時刻に同期させます。



時刻の同期が正しく実行されるためには、QUTCOFFSETシステム値が正しい値に設定されていなければなりません。

**\*NO** OS/400システムは、ネットワーク・サーバー記述がオンに構成変更されると、ファイル・サーバーの日付と時刻をOS/400システムの日付と時刻に同期させますが、その後、ネットワーク・サーバー記述がオンに構成変更されている間は日付と時刻を同期しません。

トップ

---

## ドメイン・ユーザーの伝搬 (PRPDMNUSR)

このサーバーがユーザーをWINDOWSドメインまたは活動ディレクトリーに伝搬し、同期させるために使用されるかどうかを指定します。

**注:** 複数のネットワーク・サーバーが同じWINDOWSドメインに属している場合には、そのうちの1つだけがユーザーをドメインに伝搬する必要があります。\*DMNCTLというドメインの役割をもつネットワーク・サーバーを選択すると、最高速のパフォーマンスが得られ、特殊なQAS400NTユーザーIDが必要でなくなります。少なくとも1つのネットワーク・サーバーには、ユーザーを伝搬したい各WINDOWSドメインに対して\*YESを指定してください。

**\*YES** このサーバーを介してユーザー更新をWINDOWSドメインまたは活動ディレクトリーに送ります。

**\*NO** このサーバーを介してユーザー更新をWINDOWSドメインまたは活動ディレクトリーに送りません。

トップ

---

## WINDOWSライセンス・キー (WNTLICKEY)

WINDOWSサーバーのライセンス・キーを指定します。パラメーター値が指定されていない場合には、導入時にWINDOWSサーバーがプロンプトを出して値をたずねます。

**注:** INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

### ライセンス・キー

WINDOWSサーバーCDが入ってきたジュエル・ケースの裏面にあるライセンス・キーをダッシュ('.')を含めて指定してください。WINDOWSライセンス・キー(WNTLICKEY)の長さは34文字に制限されています。

トップ

---

## ライセンス・モード (LICMODE)

WINDOWSサーバーを導入するライセンス・モードを判別します。

**注:** INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

### 要素1: ライセンス・タイプ

### **\*PERSEAT**

エンド・ユーザーが、サーバーにアクセスする各コンピューターのクライアント・アクセス・ライセンスを購入したことを示します。

### **\*PERSERVER**

エンド・ユーザーが、各サーバーのクライアント・アクセス・ライセンスを購入し、これによりサーバーに対する一定数の同時接続が可能であることを示します。

### **要素2: クライアント・ライセンス**

#### **\*NONE**

クライアント・ライセンスを導入しないことを示します。\*PERSEATが指定されている場合には、\*NONEが指定されていなければなりません。

#### **クライアント・ライセンス数**

導入中のサーバー用に購入されたクライアント・ライセンスの数。ライセンス・タイプとして\*PERSERVERが指定されている時には、5より大きい数値を指定しなければなりません。有効範囲は5から9999です。

### **要素3: 端末サービス**

#### **\*NONE**

このサーバーの端末サーバー構成装置を導入しません。

#### **\*TSENABLE**

WINDOWS 2000に端末サービスを導入します。

#### **\*PERDEVICE**

接続された各装置が有効な端末サーバー・クライアント・アクセス・ライセンス(CAL)をもっていることを要求するようにWINDOWS 2003ターミナル・サービスを導入して構成します。クライアントが端末サーバーCALをもっている場合には、複数の端末サーバーにアクセスできます。

#### **\*PERUSER**

各活動ユーザーに1つの端末サーバーCALを提供するようにWINDOWS 2003ターミナル・サーバーを導入して構成します。

トップ

---

## **制約された装置資源 (RSTDDEVRSRSC)**

制限されていて、WINDOWSサーバーで使用できないOS/400装置資源名を指定します。

注: テープおよび光ディスク装置資源だけを制約することができます。

#### **\*NONE**

どの装置資源もネットワーク・サーバーから制約されません。したがって、システム上に存在しているどのテープまたは光ディスク装置資源も使用することができます。

**\*ALL** すべてのテープおよび光ディスク資源が、ネットワーク・サーバーによる使用を制約されます。

#### **\*ALLOPT**

すべての光ディスク資源が、ネットワーク・サーバーによる使用を制約されます。

注: この値を指定できるのは一度だけです。

### **\*ALLTAPE**

すべてのテープ資源が、ネットワーク・サーバーによる使用を制約されます。

注: この値を指定できるのは一度だけです。

### **制約装置資源**

ネットワーク・サーバーによって使用できない1から10個の制約装置資源名を指定してください。

トップ

---

## **シャットダウン・タイムアウト (SHUTDTIMO)**

サーバーのシャットダウン・タイムアウト値 (分数) を指定します。これは、サーバーがオフラインに変更される前に、サーバーのオペレーティング・システムのシャットダウンに許可される時間の長さを制限するために使用されます。

**15** ネットワーク・サーバーの省略時のシャットダウン・タイムアウト値が使用されます。

### **シャットダウン・タイムアウト**

待機する時間 (分数) を指定してください。有効な値は2から45の範囲です。システムは、ネットワーク・サーバーのオペレーティング・システムが正常にシャットダウンするまで、あるいはネットワーク・サーバーがオフラインに変更される前に指定した時間が経過するまで、待機します。

トップ

---

## **テキスト'記述' (TEXT)**

このコマンドによって作成されたオブジェクトを簡単に記述したテキストを指定します。

### **\*BLANK**

テキストは指定されません。

'記述' 50桁を超えないテキストをアポストロフィで囲んで指定します。

トップ

---

## **キーボードのレイアウト (KBDTYPE)**

WINDOWSサーバーに導入するキーボード・レイアウト識別コードを指定します。有効なキーボード・レイアウト識別コードは、WINDOWSサーバー導入媒体のI386ディレクトリーに入っているTXTSETUP.SIFファイルにリストされています。

注: INSTYPEが\*BASICの場合、このパラメーターはSERVERGUIDEを使用して構成されます。この値に入力される値はすべて廃棄されます。

### **\*DEFAULT**

導入中のWINDOWSサーバーのバージョンの省略時のキーボード・レイアウトが使用されます。

### **キーボード・タイプ**

WINDOWSサーバーによって使用されるキーボード・レイアウト識別コードを指定してください。

トップ

---

## 構成ファイル (CFGFILE)

サーバーを活動化したり詳細に定義する際に使用する構成データが入っているソース・ファイルの名前を指定します。

### \*NONE

構成ファイルは指定されません。

### 構成ファイル名

サーバーの構成データ・メンバーが入っているソース・ファイルの名前を指定してください。サーバーが活動化されると、このファイルのすべてのメンバーが処理されます。

構成ファイルの名前は、次のライブラリーの値の1つで修飾することができます。

\*LIBL 最初的一致が見つかるまで、ジョブのライブラリー・リストのすべてのライブラリーが検索されません。

### \*CURLIB

ジョブの現行ライブラリーが検索されます。ジョブの現行ライブラリーとしてライブラリーが指定されていない場合には、QGPLライブラリーが使用されます。

### ライブラリー名

検索するライブラリーの名前を指定します。

[トップ](#)

---

## クラスター名 (CLU)

クラスターの名前を指定します。

### \*NONE

WINDOWSクラスターを形成または結合しません。

### クラスター名

クラスターの名前を指定してください。管理者は、クラスターとの接続にこの名前を使用します。クラスター名は、ドメイン名とも、ドメイン上のすべてのコンピューター名とも、ドメイン上の他のクラスター名とも異なったものでなければなりません。

[トップ](#)

---

## クラスター構成 (CLUCFG)

新規WINDOWSクラスターを構成するために必要なパラメーターを指定します。

注: このパラメーターが必要となるのは、**クラスター名 (CLU)**パラメーターを使用して新規WINDOWSクラスターを形成する時だけです。

\*CLU WINDOWSクラスター・サービスの前の導入ですでに定義されている値を使用して、既存のクラスター名と結合します。

### 要素1: クラスター・ドメイン名

クラスターが属するドメインを指定します。このクラスターがすでに存在する場合には、クラスターが結合されます。そうでない場合には、形成されます。クラスターを形成する場合には、**クラスター構成 (CLUCFG)**パラメーターを指定しなければなりません。

**クラスター・ドメイン名:**

新規クラスターを形成する時に、クラスターが属するドメインの名前を指定してください。

**要素2: クォーラム資源サイズ**

WINDOWSクォーラム資源として使用される記憶スペースのサイズ（メガバイト数）を指定します。

**\*CALC**

**WINDOWSサーバー・バージョン (WNTVER)**パラメーターに基づいて省略時の値となるサイズを計算する必要があることを指定します。

**クォーラム・サイズ**

WINDOWSクォーラム資源サイズをメガバイトで指定します。このサイズは最低550 MB以上で1024000 MB以下としなければなりません。

**要素3: クォーラム資源ASP**

WINDOWSクォーラム資源として使用される記憶スペースの補助記憶域プールを指定します。

注: クォーラム資源ASPとクォーラムASP装置の両方の値を指定することはできません。

**1** 記憶スペースは補助記憶域プール1（システム補助記憶域プール）内に作成されます。

**クォーラムASP:**

ASP識別コードに2から255の範囲の値を指定してください。有効値は、システムで定義されているASPの数によって異なります。

**要素4: クォーラムASP装置**

WINDOWSクォーラム資源として使用される記憶スペースの独立補助記憶域プール装置名を指定します。

注: クォーラム資源ASPとクォーラムASP装置の両方の値を指定することはできません。

**クォーラムASP装置**

独立補助記憶域プール装置の名前を指定してください。有効な値は、システムで定義されているIASPによって異なります。

**要素5: 接続ポート**

クラスター・サービス通信に使用される接続ポートを指定します。

**\*VRTETHN**

ネットワーク・サーバー仮想イーサネット・ポート'N'が構成されます。ここで'N'は0から9の値です。

**要素6: クラスターIPアドレス**

クラスターのIPアドレスを指定します。

**IPアドレス**

クラスターIPアドレスを NNN.NNN.NNN.NNN の形式で指定してください。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。

注: 選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。

#### 要素7: クラスタ・サブネット・マスク

##### サブネット・マスク

クラスタIPアドレスのサブネット・マスクを NNN.NNN.NNN.NNN の形式で指定してください。

ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。

[トップ](#)

---

## 仮想PTP イーサネット・ポート (VRTPTPPOINT)

通信のためにネットワーク・サーバーによって使用される仮想POINT-TO-POINTイーサネット・ポートのTCP/IP構成を指定してください。

#### 注:

1. ISERIESで実行中の統合XSERIESサーバーの場合には、VRTPTPPOINTパラメーターを使用しなければなりません。
2. INTEGRATED NETFINITY SERVER FOR AS/400の場合には、INTLANPORTパラメーターを使用しなければなりません。
3. 仮想POINT-TO-POINTイーサネット・ポートの両側で使用されるサブネット・マスクは255.255.255.0です。したがって、仮想POINT-TO-POINTイーサネット・ポートの両サイドに選択されるIPアドレスは、IPアドレスの最初の3つの部分が同じ値でなければなりません。

#### 要素1: OS/400 IPアドレス

OS/400とWINDOWSサーバーの間の仮想POINT-TO-POINTイーサネット接続のOS/400側のIPアドレスを指定します。次の値の1つを指定してください。

**\*GEN** INSWNTSVRコマンドにこれがISERIESサーバーで実行中の統合XSERIESサーバーであるかどうかをまず判断させ、そうである場合に、192.168.RRR.NNNという形式の生成済みIPアドレスで仮想POINT-TO-POINTイーサネット・ポートを構成させるには、\*GENを指定してください。IPアドレスのRRRはNWSD資源名の終わりの番号から取られます。IPアドレスのNNNは、OS/400上でアドレスを固有にする番号です。たとえば、NWSD資源名がLIN02の場合には、生成されるIPアドレスは192.168.2.1になります。

#### OS/400 IPアドレス

内部LANのOS/400 IPアドレスを XXX.YYY.ZZZ.NNN の形式で指定してください。ここで XXX , YYY , ZZZ ,および NNN は、0から255の範囲の10進数です。選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。IPアドレスの XXX.YYY.ZZZ という値は、POINT-TO-POINTイーサネット・ポートのWINDOWSサーバー側のIPアドレスの XXX.YYY.ZZZ の値と一致しなければなりません。

#### 要素2: WINDOWS IPアドレス

OS/400とWINDOWSサーバーの間の仮想POINT-TO-POINTイーサネット・ポートのWINDOWSサーバー側のIPアドレスを指定します。次の値の1つを指定してください。

**\*GEN** INSWNTSVRコマンドに仮想POINT-TO-POINTイーサネット・ポートのWINDOWSサーバー側のIPアドレスを生成させるには、\*GENを指定してください。生成されるIPアドレスの形式は192.168.RRR.NNNです。IPアドレスのRRRはNWSD資源名の終わりの番号から取られます。IPアド



レスのNNNは、OS/400上でアドレスを固有にする番号です。たとえば、NWSD資源名がLIN02の場合には、生成されるIPアドレスは192.168.2.2になります。

### WINDOWS IPアドレス

内部LANのWINDOWSサーバーIPアドレスを XXX.YYY.ZZZ.NNN の形式で指定してください。ここで XXX , YYY , ZZZ , および NNN は、0から255の範囲の10進数です。選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。IPアドレスの XXX.YYY.ZZZ という値は、POINT-TO-POINTイーサネット・ポートのOS/400側のIPアドレスの XXX.YYY.ZZZ の値と一致しなければなりません。

[トップ](#)

---

## 内部LANポート (INTLANPORT)

ネットワーク・サーバーが使用する統合NETFINITYサーバーの内部ローカル・エリア・ネットワーク(LAN)のTCP/IP構成を指定してください。

### 注:

1. ISERIESで実行中の統合XSERIESサーバーの場合には、VRTPTPPORTパラメーターを使用しなければなりません。
2. INTEGRATED NETFINITY SERVER FOR AS/400の場合には、INTLANPORTパラメーターを使用しなければなりません。
3. 内部LANのOS/400とWINDOWSサーバー側のIPアドレスは、同じインターネット・サブネット上になければならず、そのインターネット・サブネットはネットワーク上で固有でなければなりません。たとえば、OS/400内部LAN IPアドレスが192.168.2.1で、WINDOWSサーバー内部LAN IPアドレスが192.168.2.2の場合には、ネットワーク上の他のシステムが192.168.2.NNN形式のIPアドレスを使用することはできません。

内部LANの両サイドで使用されるサブネット・マスクは255.255.255.0です。したがって、内部LANの両サイドに選択されているIPアドレスは、IPアドレスの最初の3つの部分が同じ値でなければなりません。

### 要素1: OS/400 IPアドレス

OS/400とWINDOWSサーバーの間の内部LAN接続のOS/400側のIPアドレスを指定します。次の値の1つを指定してください。

**\*GEN** INSWNTSVRコマンドにこれがINTEGRATED NETFINITY SERVER FOR AS/400であるかどうかをまず判断させ、そうである場合に、内部LANのOS/400側の生成済みIPアドレスで内部ローカル・エリア・ネットワークを構成させるには、\*GENを指定してください。生成されるIPアドレスの形式は192.168.RRR.NNNです。IPアドレスのRRRはNWSD資源名の終わりの番号から取られます。IPアドレスのNNNは、OS/400上でアドレスを固有にする番号です。たとえば、NWSD資源名がLIN02の場合には、生成されるIPアドレスは192.168.2.1になります。

### OS/400 IPアドレス

内部LANのOS/400 IPアドレスを XXX.YYY.ZZZ.NNN の形式で指定してください。ここで XXX , YYY , ZZZ , および NNN は、0から255の範囲の10進数です。選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。IPアドレスで XXX.YYY.ZZZ の値は、内部LANのWINDOWSサーバー側のIPアドレスの XXX.YYY.ZZZ の値と一致しなければなりません。

### 要素2: WINDOWS IPアドレス

OS/400とWINDOWSサーバーの間の内部LAN接続のWINDOWSサーバー側のIPアドレスを指定します。次の値の1つを指定してください。

**\*GEN** INSWNTSVRコマンドで内部LANのWINDOWSサーバー側のIPアドレスを生成できるようにするには、\*GENを指定してください。生成されるIPアドレスの形式は192.168.RRR.NNNです。IPアドレスのRRRはNWSD資源名の終わりの番号から取られます。IPアドレスのNNNは、OS/400上でアドレスを固有にする番号です。たとえば、NWSD資源名がLIN02の場合には、生成されるIPアドレスは192.168.2.2になります。

### WINDOWS IPアドレス

内部LANのWINDOWSサーバーIPアドレスを XXX.YYY.ZZZ.NNN の形式で指定してください。ここで XXX , YYY , ZZZ , および NNN は、0から255の範囲の10進数です。選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。IPアドレスの XXX.YYY.ZZZ 値は、内部LANのOS/400 側のIPアドレスの XXX.YYY.ZZZ の値と一致しなければなりません。

トップ

---

## ポート1 (PORT1)

OS/400とWINDOWSサーバーの間で共用されるポートの統合NETFINITYサーバーTCP/IP 構成を指定してください。

- ポートがWINDOWSサーバーのみに使用されて、OS/400通信用に使用されない場合には、回線タイプに\*NONEを指定して、このパラメーターのその他の要素は指定しないでください。
- ポートがイーサネットLANに接続されている場合には、回線タイプに\*ETH10Mまたは\*ETH100Mを指定してください。
- ポートがトークンリングLANに接続されている場合には、回線タイプに\*TRN4Mまたは\*TRN16Mを指定してください。

ポートの最大伝送単位(MTU)は任意選択で指定します。

OS/400 IPアドレスとOS/400サブネット・マスクは任意選択でポートに指定します。

WINDOWSサーバーIPアドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスは任意選択でポートに指定します。

TCP/IPを使用してポートから通信することを計画している場合、あるいはOS/400 IPアドレスおよびOS/400サブネット・マスクが指定されている場合には、MTU、WINDOWSサーバーIPアドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスを、使用する予定の統合NETFINITY サーバーのポートごとに指定しなければなりません。

注: このパラメーターは、**TCP/IPポート構成 (TCPPOPCFG)**パラメーターと一緒に使用することができません。

### \*NONE

情報に関連したポートはないことを指定します。OS/400構成は、統合NETFINITYサーバーの回線ポートに接続される回線の場合には実行されません。

注: ポートがWINDOWSサーバーのみに使用されて、OS/400通信用に使用されない場合には、回線タイプに\*NONEを指定して、このパラメーターのその他の要素は指定しないでください。



## 要素1: 回線タイプ

### \*ETH10M

回線タイプが10Mイーサネットであることを指定します。イーサネット回線の回線記述を作成すると、この回線で使用するイーサネット標準フレーム・タイプは\*ALL（すべてのイーサネット標準を使用できます）に設定されます。

### \*ETH100M

回線タイプが100Mイーサネットであることを指定します。イーサネット回線の回線記述を作成すると、この回線で使用するイーサネット標準フレーム・タイプは\*ALL（すべてのイーサネット標準を使用できます）に設定されます。

### \*TRN4M

回線タイプが4Mトークンリングであることを指定します。

### \*TRN16M

回線タイプが16Mトークンリングであることを指定します。

## 要素2: LOCALアダプター・アドレス

### アダプター・アドレス

使用するアダプター・アドレスを指定します。回線タイプ\*ETH10Mまたは\*ETH100Mが指定されている時には、アダプター・アドレスは、020000000000から7EFFFFFFFの範囲でなければなりません。アダプター・アドレスの2文字目は2, 6, A,またはEでなければなりません。

回線タイプ\*TRN4Mまたは\*TRN16Mを指定する時には、アダプター・アドレスは400000000000から7FFFFFFFの範囲でなければなりません。この値について理解するには、通信構成解説書のADPTADR文書を参照してください。

## 要素3: 最大送信単位

インターフェースの最大伝送単位(MTU)を指定します。次の値の1つを指定してください。

**1492** 省略時のMTU値1492バイトを指定します。

### 最小伝送単位

インターフェースの最大伝送単位(MTU)の値をバイト数で指定します。

## 要素4: OS/400 IPアドレス

ポートのOS/400 IPアドレスを指定します。次の値の1つを指定してください。

### IPアドレス

ポートのOS/400 IPアドレスを NNN.NNN.NNN.NNN の形式で指定してください。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。

## 要素5: OS/400サブネット・マスク

ポートのOS/400サブネット・マスクを指定します。次の値の1つを指定してください。

### サブネット・マスク

OS/400 IPアドレスのサブネット・マスクを指定します。

注: OS/400 IPアドレスが指定されている場合には、この要素に値を指定しなければなりません。

## 要素6: WINDOWS IPアドレス

## IPアドレス

ポートのWINDOWS IPアドレスを形式 NNN.NNN.NNN.NNN で指定します。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。

注: OS/400 IPアドレスが指定されている場合には、この要素に値を指定しなければなりません。

### 要素7: WINDOWSサブネット・マスク

#### サブネット・マスク

WINDOWSサーバーIPアドレスのサブネット・マスクを指定します。

注: WINDOWS IPアドレスが指定されている場合には、この要素に値を指定しなければなりません。

### 要素8: WINDOWS GATEWAYアドレス

#### ゲートウェイ・アドレス

ポートのWINDOWSゲートウェイ・アドレスを NNN.NNN.NNN.NNN 形式で指定します。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。

注: WINDOWS IPアドレスが指定されている場合にだけ、この要素に値を指定しなければなりません。

[トップ](#)

---

## ポート2 (PORT2)

OS/400とWINDOWSサーバーの間で共用されるポートの統合NETFINITYサーバーTCP/IP 構成を指定してください。

- ポートがWINDOWSサーバーのみに使用されて、OS/400通信用に使用されない場合には、回線タイプに \*NONEを指定して、このパラメーターのその他の要素は指定しないでください。
- ポートがイーサネットLANに接続されている場合には、回線タイプに\*ETH10Mまたは\*ETH100Mを指定してください。
- ポートがトークンリングLANに接続されている場合には、回線タイプに\*TRN4Mまたは\*TRN16Mを指定してください。

ポートの最大伝送単位(MTU)は任意選択で指定します。

OS/400 IPアドレスとOS/400サブネット・マスクは任意選択でポートに指定します。

WINDOWSサーバーIPアドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスは任意選択でポートに指定します。

TCP/IPを使用してポートから通信することを計画している場合、あるいはOS/400 IPアドレスおよびOS/400 サブネット・マスクが指定されている場合には、MTU、WINDOWSサーバーIPアドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスを、使用する予定の統合NETFINITY サーバーのポートごとに指定しなければなりません。

注: このパラメーターは、**TCP/IPポート構成 (TCPPOPTCFG)**パラメーターと一緒に使用することができません。

## **\*NONE**

情報に関連したポートはないことを指定します。OS/400構成は、統合NETFINITYサーバーの回線ポートに接続される回線の場合には実行されません。

**注:** ポートがWINDOWSサーバーのみに使用されて、OS/400通信用に使用されない場合には、回線タイプに\*NONEを指定して、このパラメーターのその他の要素は指定しないでください。

## **要素1: 回線タイプ**

### **\*ETH10M**

回線タイプが10Mイーサネットであることを指定します。イーサネット回線の回線記述を作成すると、この回線で使用するイーサネット標準フレーム・タイプは\*ALL（すべてのイーサネット標準を使用できます）に設定されます。

### **\*ETH100M**

回線タイプが100Mイーサネットであることを指定します。イーサネット回線の回線記述を作成すると、この回線で使用するイーサネット標準フレーム・タイプは\*ALL（すべてのイーサネット標準を使用できます）に設定されます。

### **\*TRN4M**

回線タイプが4Mトークンリングであることを指定します。

### **\*TRN16M**

回線タイプが16Mトークンリングであることを指定します。

## **要素2: LOCALアダプター・アドレス**

### **アダプター・アドレス**

使用するアダプター・アドレスを指定します。回線タイプ\*ETH10Mまたは\*ETH100Mが指定されている時には、アダプター・アドレスは、020000000000から7EFFFFFFFの範囲でなければなりません。アダプター・アドレスの2文字目は2, 6, A,またはEでなければなりません。

回線タイプ\*TRN4Mまたは\*TRN16Mを指定する時には、アダプター・アドレスは400000000000から7FFFFFFFの範囲でなければなりません。この値について理解するには、通信構成解説書のADPTADR文書を参照してください。

## **要素3: 最大送信単位**

インターフェースの最大伝送単位(MTU)を指定します。次の値の1つを指定してください。

**1492** 省略時のMTU値1492バイトを指定します。

### **最小伝送単位**

インターフェースの最大伝送単位(MTU)の値をバイト数で指定します。

## **要素4: OS/400 IPアドレス**

ポートのOS/400 IPアドレスを指定します。次の値の1つを指定してください。

### **IPアドレス**

ポートのOS/400 IPアドレスを NNN.NNN.NNN.NNN の形式で指定してください。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。

## **要素5: OS/400サブネット・マスク**

ポートのOS/400サブネット・マスクを指定します。次の値の1つを指定してください。

#### サブネット・マスク

OS/400 IPアドレスのサブネット・マスクを指定します。

注: OS/400 IPアドレスが指定されている場合には、この要素に値を指定しなければなりません。

#### 要素6: WINDOWS IPアドレス

##### IPアドレス

ポートのWINDOWS IPアドレスを形式 NNN.NNN.NNN.NNN で指定します。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。選択するIPアドレスは、すべてのNWSDオブジェクトおよびOS/400 TCP/IP構成を通して固有でなければなりません。

注: OS/400 IPアドレスが指定されている場合には、この要素に値を指定しなければなりません。

#### 要素7: WINDOWSサブネット・マスク

##### サブネット・マスク

WINDOWSサーバーIPアドレスのサブネット・マスクを指定します。

注: WINDOWS IPアドレスが指定されている場合には、この要素に値を指定しなければなりません。

#### 要素8: WINDOWS GATEWAYアドレス

##### ゲートウェイ・アドレス

ポートのWINDOWSゲートウェイ・アドレスを NNN.NNN.NNN.NNN 形式で指定します。ここで NNN は0から255の範囲の10進数です。

注: WINDOWS IPアドレスが指定されている場合にだけ、この要素に値を指定しなければなりません。

[トップ](#)

---

## INSWNTSVRの例

### 例1:WINDOWSターミナル・サーバーの導入

```
INSWNTSVR  NWSD(W2KSERV) INSTYPE(*FULL)
            RSRNAME(LIN09) DMNROLE(*SERVER)
            WNTVER(*WIN2000) WNTSRCDIR(*DFT) OPTION(*INSTALL)
            TCPPOPTCFG((1 '206.5.8.48' '255.255.255.128'
                        '206.5.8.1'))
            SVRSTGSIIZE(*CALC 2500) SVRSTGASP(1 1)
            CVTNTFS(*YES) TOWRKGRP(XYZGROUP)
            FULNAM('JOHN SMITH') ORG('XYZ CORPORATION')
            WNTLICKKEY('VVVVV-XXXXX-YYYYY-ZZZZ')
            LICMODE(*PERSEAT *NONE *TSENABLE)
            TEXT('WINDOWS 2000端末サーバー')
```

このコマンドはW2KSERVという名前のWINDOWSサーバーを導入します。W2KSERVは、統合XSERIESサーバー資源LIN09上に導入されるWINDOWS 2000 SERVERオペレーティング・システムと関連したネットワーク・サーバー記述です。導入時に自動的にNTFSに変換される2500 MBのサイズのシステム・ドライブ

で、完全に制御された導入が実行されることとなります。WINDOWS 2000 SERVER はXYZGROUPワークグループに結合されます。PER SEAT（接続クライアント数）ライセンス・モードが構成され、端末サービスがサーバー上に導入されます。TCP/IPローカル・ホスト名はサーバー記述名と同じになります。TCP/IPローカル・ドメイン名はOS/400システムと同じで、同じネーム・サーバーが使用されることとなります。統合XSERIESサーバーで検出される最初のLANアダプターに、TCP/IPアドレス206.5.8.48が自動的に構成されます。

## 例2: WINDOWSクラスター・ノードの導入

```
INSWNTSVR  NWS(W2KNODE1) INSTYPE(*FULL)
           RSRNAME(LIN03) DMNROLE(*SERVER)
           WNTVER(*WIN2000) WNTSRCDIR(*DFT) OPTION(*INSTALL)
           TCPPORTCFG((1 '206.5.8.60' '255.255.255.128'
                        '206.5.8.1'))
           VRTETHPORT((*VRTETH5 '192.168.9.3'
                        '255.255.255.0'))
           TCPDMNNAME(XYZDOMAIN.XYZCORP.COM)
           TCPNAMSVR('206.5.69.165' '206.5.8.8'
                    '206.10.244.100')
           SVRSTGSIIZE(*CALC 4000) SVRSTGASP(1 1)
           CVTNTFS(*YES) TODMN(XYZDOMAIN)
           FULNAM('JOHN SMITH') ORG('XYZ CORPORATION')
           WNTLICENSE('VVVVV-WWWW-XXXX-YYYY-ZZZZ')
           LICMODE(*PERSEAT *NONE *NONE)
           TEXT('WINDOWS 2000クラスター・ノード1')
           CLU(CLU1XYZ)
           CLUCFG(XYZDOMAIN 600 1 *N *VRTETH5 '206.5.8.65'
                 '255.255.255.128')
```

このコマンドはW2KNODE1という名前のWINDOWSサーバーを導入します。W2KNODE1は、統合XSERIESサーバー資源LIN03上に導入されるWINDOWS 2000 SERVERオペレーティング・システムと関連したネットワーク・サーバー記述です。導入時に自動的にNTFSに変換される4000 MBのサイズのシステム・ドライブで、完全に制御された導入が実行されることとなります。WINDOWS 2000 SERVER はXYZDOMAINドメインに結合されます。PER SEAT（接続クライアント数）ライセンス・モードがサーバー上に構成されません。統合XSERIESサーバーで検出される最初のLANアダプターに、TCP/IPアドレス206.5.8.60が自動的に構成されます。仮想イーサネットLANは、TCP/IPアドレス192.168.9.3で構成された仮想イーサネット5に作成されます。TCP/IPローカル・ホスト名はサーバー記述名と同じになります。TCP/IPローカル・ドメイン名はXYZDOMAIN.XYZCORP.COMです。TCP/IPネーム・サーバーは206.5.69.165, 206.5.8.8,および206.10.244.100を使用します。サイズが600 MBの名前XYZDOMAINのクォーラム資源ドライブを作成することによって、新しいMICROSOFTクラスターが使用可能になります。クラスター・ノード間のプライベート通信には仮想イーサネット5が使用されます。

トップ

---

## INSWNTSVRのエラー・メッセージ

### \*ESCAPEメッセージ

**NTA1007**

WINDOWSサーバー&1はオフに構成変更されていなければなりません。

**NTA100E**

WINDOWSのオンまたはオフへの構成変更が正常に行なわれていません。

**NTA1013**

WINDOWSサーバー導入が成功していません。

**NTA1024**

サーバー&1に割り当てられた記憶スペースが抜けているか、損傷しているか、あるいは無効です。

**NTA1030**

内部エラーが起こった。

[トップ](#)

---

## 付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、米国以外の国においては本書で述べる製品、サービス、またはプログラムを提供しない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。

使用許諾については、下記の宛先に書面にてご照会ください。

〒106-0032  
東京都港区六本木 3-2-31  
IBM World Trade Asia Corporation  
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
Software Interoperability Coordinator, Department 49XA  
3605 Highway 52 N  
Rochester, MN 55901  
U.S.A.



本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

---

## 商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

Advanced Function Printing

AFP

AS/400

CICS

COBOL/400

C/400

DataPropagator

DB2

IBM

Infoprint

InfoWindow

iSeries

LPDA

OfficeVision



OS/400  
Print Services Facility  
RPG/400  
SystemView  
System/36  
TCS  
WebSphere

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

---

## 資料に関するご使用条件

お客様がダウンロードされる資料につきましては、以下の条件にお客様が同意されることを条件にその使用が認められます。

**個人使用:** これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布（頒布、送信を含む）または表示（上映を含む）することはできません。

**商業的使用:** これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

これらの資料の著作権はすべて、IBM Corporation に帰属しています。

お客様が、このサイトから資料をダウンロードまたは印刷することにより、これらの条件に同意されたものとさせていただきます。

---

## コードに関する特記事項

本書には、プログラミングの例が含まれています。

IBM は、お客様に、すべてのプログラム・コードのサンプルを使用することができる非独占的な著作使用権を許諾します。お客様は、このサンプル・コードから、お客様独自の特別のニーズに合わせた類似のプログラムを作成することができます。

すべてのサンプル・コードは、例として示す目的でのみ、IBM により提供されます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

ここに含まれるすべてのプログラムは、現存するままの状態を提供され、いかなる保証も適用されません。商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任の保証の適用も一切ありません。





Printed in Japan